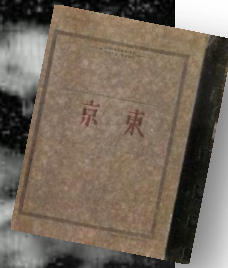


講演会

# 宮沢賢治が歩いた東京

「東京」ノートでたどる軌跡



日時：2015年11月24日（火）  
19:00～20:30（開場18:30）  
会場：千代田図書館9階 特設イベントスペース  
講師：杉浦静氏（大妻女子大学文学部教授）  
席数：40席（事前申込不要、立ち見可、無料）  
主催：大妻女子大学国文学会・千代田図書館  
お問合せ：千代田図書館（03-5211-4289.4290）

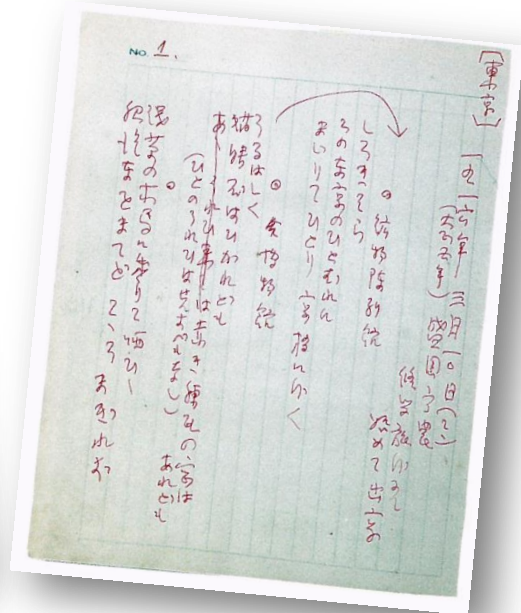
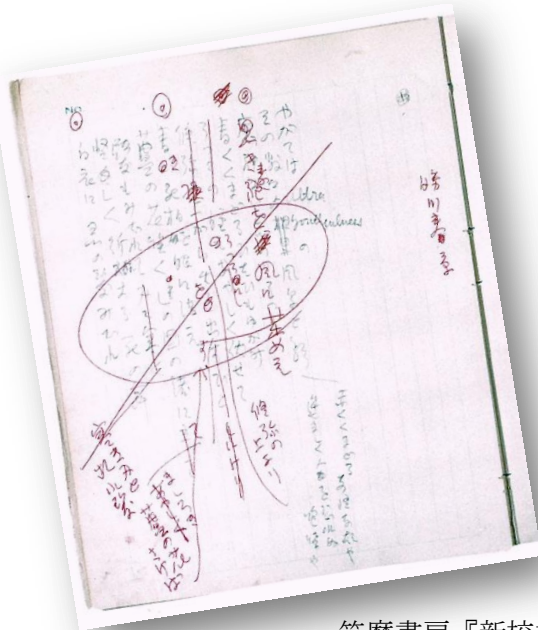
宮沢賢治は、東京の町歩きの中で、たくさんの短歌や詩を作りました。東京を描いた作品を集めた「東京」ノートをもとに、賢治が歩いた東京について紹介します。

講師  
杉浦 静氏

大妻女子大学文学部教授  
前宮沢賢治学会  
イーハトーブセンター代表理事  
1952年生  
東京教育大学大学院修了  
東京都立豊多摩高校、佛教大学を経て現職



宮沢賢治は、生涯に9回東京を訪れました。東京滞在は数日から数ヶ月まで長短はありましたが、このうち4回は現在の千代田区に宿を取っています。ここを拠点にして当時の東京のさまざまな盛り場、図書館、博物館などを歩き回り、また、ドイツ語やエスペラントの講習会などにも通っていたのです。東京の町歩きの中で、たくさん短歌や詩（心象スケッチ）が作られました。ともすれば、イーハトーブの自然をうたい、自然と交感した詩人・童話作家と言われることの多い宮沢賢治ですが、彼は東京という都市をどのように歌ったのでしょうか。東京を描いた作品を集めた「東京ノート」をもとに、賢治の東京を一緒にたどってみましょう。



筑摩書房『新校本宮沢賢治全集』より

講演会場へのアクセス

住所: 千代田区九段南 1-2-1 千代田区役所 9F  
千代田区立千代田図書館

電話: 03-5211-4289・4290

最寄駅から: 東京メトロ東西線・半蔵門線、  
都営新宿線「九段下」駅下車、  
徒歩5分

